

平成30年度東部地区小学校理科授業充実研修会

平成30年8月2日（木）
越谷市科学技術体験センター

小学校理科授業の一層の充実を図るため、観察・実験の指導技術の向上と科学的な思考力を育成する授業づくりをテーマとする研修会を実施しました。

全体を2グループに分け、講義・演習を行うグループと実験・実技を行うグループが、午前と午後の交替制で研修を行いました。

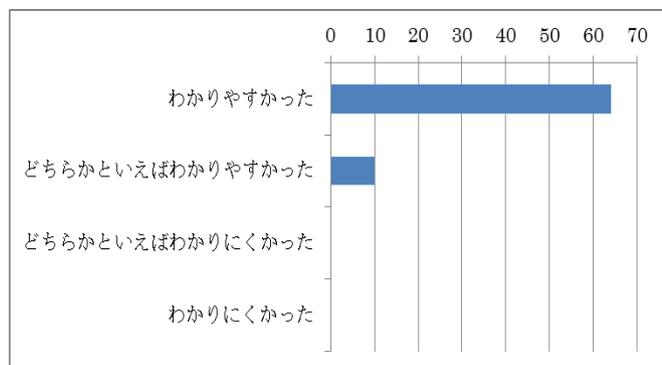
指導者から学習指導要領改訂のポイントや事例を基にした授業づくりの講義、参加者がものづくりを通して学ぶエネルギー変換の実験など、様々な研修に取り組みました。

どの参加者も熱心に取り組み「2学期からの授業に生かしたい」、「この研修の内容を校内に広めたい」などの声が多数聞かれました。

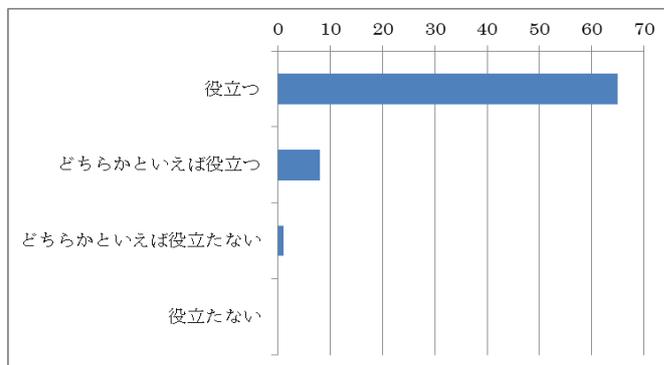
（参加者74名）

【事後アンケートから】

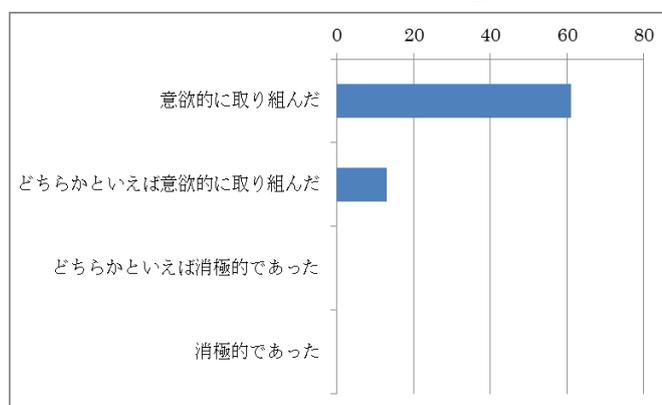
『内容がわかりやすかった』



『授業実践に役立った』



『研修の取組状況』



どの設問に対しても、高い評価を得ることができた。このような結果は、ここ数年、ほぼ同様である。本研修会が、理科教育について学ぶ意欲が旺盛な小学校教員にとって、貴重な学びの場となっていることがうかがえる。

【実験・実技コース】

「理科実験等における事故防止」

「ものづくり、観察・実験」



事故防止について



水の温まり方の実験



クリップモーターづくり



化石さがし

【感想から】

○自分自身が楽しみながら実験をしたり、講義を聞いたりすることができました。紹介いただいた実践事例や実験をできることから取り組みたいです。

○子供たちに体験させ、その後、何のためにしたのか、何を見たらよいのかなど、理科の見方や考え方を仕掛けてあげることが大切だと分かりました。

○ものづくり・実験を通して、子供の興味・関心を引き付ける導入等、参考になるものばかりでした。

○理科主任として、理科室の整備のコツなどを教えていただき、今後、取り組んでいくことで、理科好きの子供たちを育てていきたいです。

○理科授業は環境づくりが大切だと思いました。（子供が学習しやすい環境・楽しくなるような仕掛けを仕組む環境・安全に取り組む環境）

【講義・演習コース】

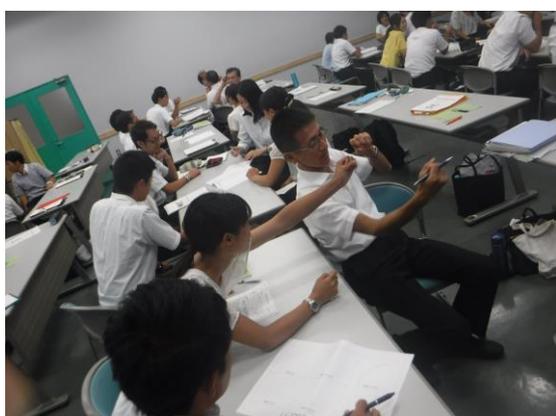
**「科学的な思考力」を育成する授業づくり
「子供たちが生き生き学ぶ理科教育の実践」**



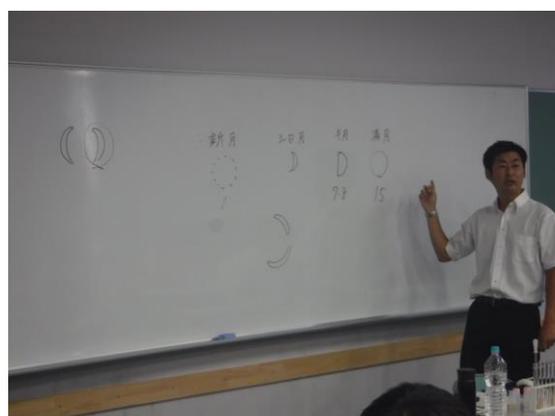
導入の工夫



マローブルーを使用した演示実験



対話的な学び



月の満ち欠け

【感想から】

- 新学習指導要領のポイント整理、理科授業を進めるうえで自校の SWOT 分析、ノート指導や理科室経営のポイントなど、実践に生かせる内容でした。
- 理科授業の基本や導入の大切さ等を学ぶことができました。特に、三日月のイラストを描く導入では、「あれ？」と考えるきっかけとなりました。
- 「主体的・対話的で深い学び」を自らの体験から学ぶことができました。学習することが楽しくなるような理科室、授業ができるように取り組みたいです。
- OSWOT 法を通して、自分が利用できる強みと弱みを学ぶだけではなく、どのように改善すればよいのか、他校の先生との話し合いを通して学びました。
- 理科室の整備や掲示の仕方が、マンネリになってしまうのが、悩みどころでしたが、たくさんのヒントをいただき、早速、取り掛かってみます。

【その他の感想】

- ・本日の研修を通して、理科の指導法について学ぶことができました。特に、教科書を通して、理科の目標が達成できるように取り組んでいきたいです。
- ・子供の視点に立って、科学に興味・関心を持たせながら学習させることが大切だと分かりました。理科好きな子供をもっと増やせるように頑張ります。
- ・1日があっという間でした。実験が楽しかったのはもちろんですが、その中で、どのように学びにつなげていくのかをとっても考えさせられました。
- ・子供たちにとって魅力的である観察・実験が、楽しいだけではなく、深い学びにつながるように自分も努力していきたいです。
- ・NHK の番組を紹介してくださったように、身近な疑問はどこにでもあると思うので、まず、教師自身がアンテナを高くすること、また身近な事象について、子供がどのように思っているのか考え、教材研究に生かしたいです。
- ・教科書には載っていない、一味違った実験や理科の授業について、学ぶことができました。今日学んだことを少しずつ、実践していきたいです。
- ・実験・観察では、単元のねらいとゴールを明確にし、正対させた評価が大事であることを改めて、学ぶことができました。
- ・理科の授業を今すぐにでも指導してみたいと思いました。「自分で学ぶ時間」「他者と学ぶ時間」を積極的に取り入れていく必要性を感じました。たくさんの体験を通して、知らないことを知ることができました。

【課題や悩みから】

- ・どうにか、準備をする時間を作っていくかといけないと思いました。2学期は、実験も増えるので、安全にできるようにしたいです。
- ・子供たちが主体的に活動する授業づくりとは・・・と、いつも悩みながら教材研究をしています。
- ・指導する内容を深く理解していないと、「おもしろいポイント」を逃してしまうことが分かりました。教材研究をがんばります。
- ・理科室の整備をするために、台帳や廃棄等の方法を詳しく学ぶ場がほしいと思いました。整備が進むだけでも、授業への取り組みがしやすいと思いました。
- ・なかなか実験や観察に時間がかかりすぎてしまい、考察をする時間を確保することができないのが課題です。
- ・天気や時期に左右される単元では、うまくいかないことも多く、授業展開の組み立ての難しさを感じています。
- ・最初の問題、次の問題と広がりをもった単元の計画を立てられるか、不安です。できる限り、子供のもった疑問に沿って授業をしたいと思います。